

令和4年度

# 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

## 報告書

令和5年3月

当別町教育委員会

## 目 次

I 調査について	1
1) 目的	
2) 対象学年（參加した学校・児童生徒数）	
3) 内容	
4) 実施期間	
II 小学校の結果	2
1) 体格に関する調査	
2) 体力・運動能力（実技）に関する調査	
3) 過年度との比較	
4) 運動習慣、生活習慣等に関する児童質問紙調査	
III 中学校の結果	14
1) 体格に関する調査	
2) 体力・運動能力（実技）に関する調査	
3) 過年度との比較	
4) 運動習慣、生活習慣等に関する生徒質問紙調査	
IV 当別町体力向上プラン	26

# I 調査について

## 1) 目的

- ① 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ② 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において、自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策（各公私立学校においては取組）の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ③ 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

## 2) 対象学年・児童生徒数

校種	対象学年	対象学校数	対象児童生徒数	参加児童生徒数	男子	女子	参加率
小学校 <sup>(※1)</sup>	第5学年	2校	86人	82人	38人	44人	95.3%
中学校 <sup>(※2)</sup>	第2学年 (第8学年)	2校	113人	100人	49人	51人	88.5%

(※1) 義務教育学校前期課程を含む。

(※2) 義務教育学校後期課程を含む。

## 3) 内容

- ① 実技に関する調査
  - ア) 小学校調査 [8種目]  
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
  - イ) 中学校調査 [8種目]  
握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走（男子1500m、女子1000m）  
または20mシャトルラン※、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ  
※持久走か20mシャトルランのいずれかを選択して実施する。
- ② 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

## 4) 実施期間

令和4年4月から7月までの期間

## II 小学校の結果

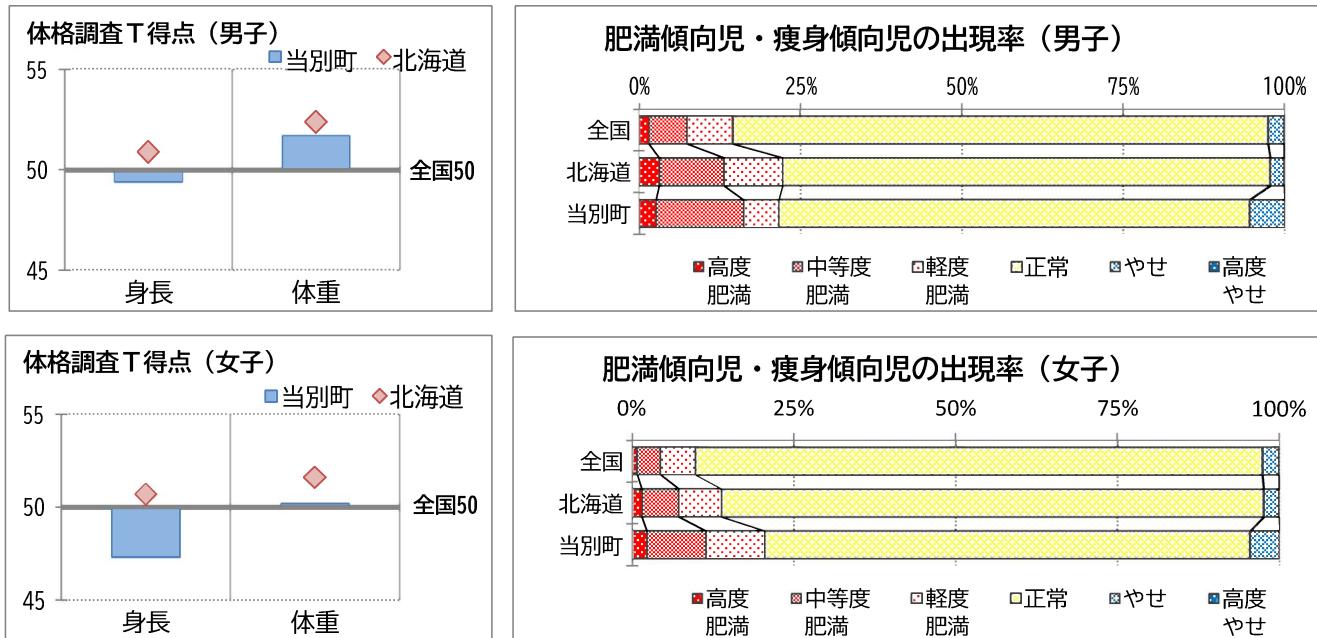
### 1) 体格に関する調査

【小学校男子】	身長の平均は、全国より0.6ポイント低く、体重の平均は全国より1.7ポイント高い。肥満傾向児の出現率は全国より7.1ポイント高く、痩身傾向児の出現率は全国より2.9ポイント高く、二極化が進んでいることがうかがえる。							
【小学校女子】	身長の平均は、全国より2.7ポイント低く、体重の平均は全国より0.2ポイント高い。肥満傾向児の出現率が全国より10.7ポイント高く、痩身傾向児の出現率は全国より1.9ポイント高く、二極化が進んでいることがうかがえる。							

小学校 5年男子	身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
全国	139.52	50.0	35.51	50.0	1.6%	5.9%	7.0%	82.9%	2.4%	0.1%
北海道	140.07	50.9	37.45	52.4	3.2%	10.0%	9.0%	75.6%	2.1%	0.1%
当別町	139.12	49.4	36.83	51.7	2.7%	13.5%	5.4%	73.0%	5.4%	0.0%

小学校 5年女子	身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
全国	141.30	50.0	35.37	50.0	0.8%	3.6%	5.4%	87.6%	2.5%	0.1%
北海道	141.78	50.7	36.54	51.6	1.5%	5.7%	6.6%	83.8%	2.3%	0.1%
当別町	139.44	47.3	35.50	50.2	2.3%	9.1%	9.1%	75.0%	4.5%	0.0%

※全国・北海道の値は、公立校を対象としたものです。



#### 《用語と解説》

用語	解説
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値=調査結果の総和/標本数」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」

#### 《標準体重と肥満度判定》

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

#### 《標準体重を求める係数》

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9 (小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10 (小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11 (小6)	0.782	75.106	0.803	78.846

「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より  
平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

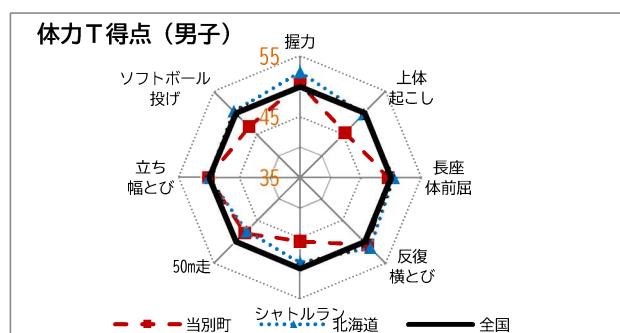
#### 《判定基準》

肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-29.9 ~ -20%	やせ
-30%以下	高度やせ

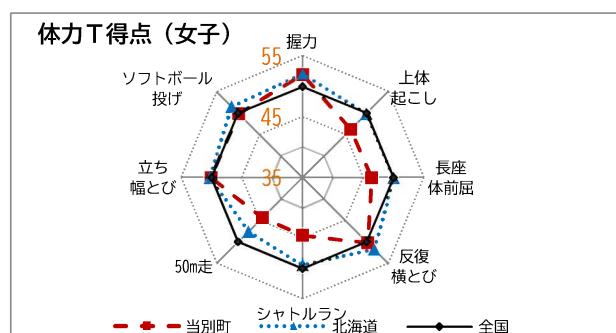
## 2) 体力・運動能力（実技）に関する調査

【小学校男子】	握力、反復横とび、立ち幅跳びの3種目で全国平均を上回った。長座体前屈は、ほぼ全国平均並みだが、過年度との比較では減少傾向となっている。 体力合計点は、全国平均を2.9ポイント下回った。 総合評価は、AとBの割合が全国平均より11.3ポイント低く、DとEの合計の割合が全国平均より10.2ポイント高いことから、上位層の児童が少なく、下位層の児童が多いことがうかがえる。
【小学校女子】	握力、反復横とび、立ち幅跳びの3種目で全国平均を上回った。ソフトボール投げは、ほぼ全国平均並みだが、過年度との比較では減少傾向となっている。 体力合計点は、全国平均を3.4ポイント下回った。 総合評価は、AとBの割合が全国平均より14.9ポイント低く、DとEの合計の割合が全国平均より15.5ポイント高いことから、上位層の児童が少なく、下位層の児童が多いことがうかがえる。

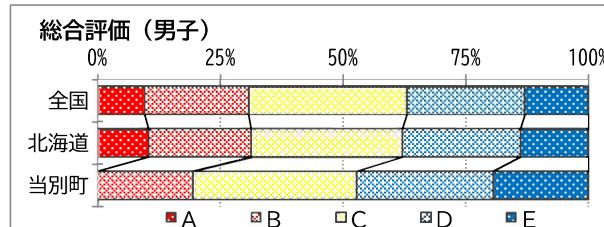
【小学校男子】



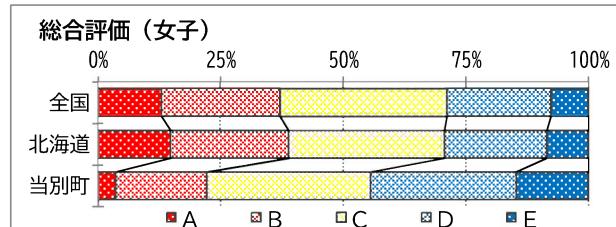
【小学校女子】



総合評価 (男子)



総合評価 (女子)



男子	握力 (kg)	上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点		
全国	16.21	50.0	18.86	50.0	33.79	50.0	40.36	50.0
北海道	17.15	52.4	18.72	49.8	34.15	50.4	41.46	51.3
当別町	16.39	50.5	16.11	45.4	33.32	49.5	40.95	50.7

女子	握力 (kg)	上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点		
全国	16.10	50.0	17.97	50.0	38.18	50.0	38.66	50.0
北海道	16.90	52.1	17.93	49.9	38.14	50.0	39.95	51.7
当別町	16.86	52.0	15.97	46.2	34.90	46.4	38.79	50.2

男子	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)				
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点		
全国	45.92	50.0	9.53	50.0	150.83	50.0	20.31	50.0
北海道	43.92	49.0	9.85	47.5	151.15	50.1	20.73	50.5
当別町	36.76	45.6	9.80	47.9	151.14	50.1	17.76	46.9

女子	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)				
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点		
全国	36.97	50.0	9.70	50.0	144.55	50.0	13.17	50.0
北海道	36.00	49.4	9.94	47.6	145.16	50.3	13.90	51.5
当別町	28.21	44.5	10.27	44.3	144.71	50.1	13.12	49.9

男子	体力合計点 (点)	総合評価 (%)					
	平均値	T得点	A	B	C	D	E
全国	52.28	50.0	9.6%	21.1%	32.3%	24.0%	13.0%
北海道	52.23	49.9	10.4%	20.9%	30.8%	24.0%	13.9%
当別町	49.53	47.1	0.0%	19.4%	33.3%	27.8%	19.4%

女子	体力合計点 (点)	総合評価 (%)					
	平均値	T得点	A	B	C	D	E
全国	54.31	50.0	13.0%	24.1%	34.0%	21.2%	7.7%
北海道	54.48	50.2	14.9%	24.0%	31.7%	20.8%	8.6%
当別町	51.26	46.6	3.7%	18.5%	33.3%	29.6%	14.8%

### «体力テスト種目と要素»

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤ 20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ ソフトボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ソフトボールを遠投した距離
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価	5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価 A1は65点以上、B1は58~64点、C1は50~57点、D1は42~49点、E1は41点以下	

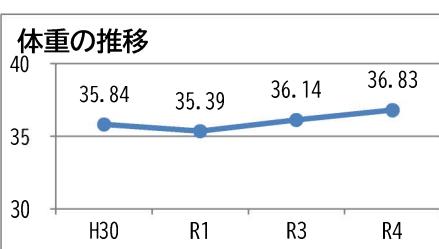
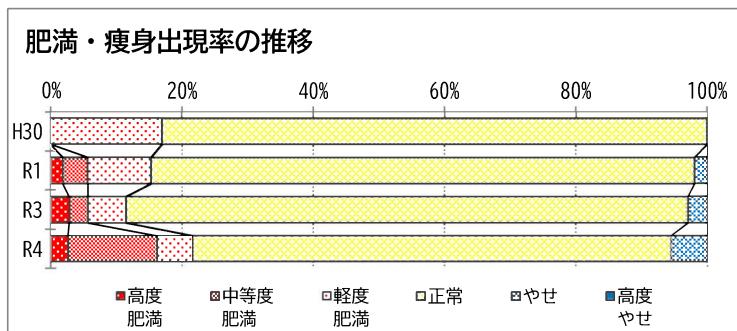
### 3) 過年度との比較

【小学校男子】

分析	身長の平均は、ほぼ横ばいで推移しているが、体重の平均は上昇傾向にあり、肥満傾向児の出現率が上昇に転じた。また、瘦身傾向児も増えつつあり、二極化している。 体力合計点は、令和3年度は上昇に転じたが、令和4年度は前回を下回る結果となった。
----	--

#### ①体格

小学校 5年男子	身長(cm)		体重(kg)		肥満傾向児・瘦身傾向児の出現率(%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
H30	139.14	35.84	0.0%	0.0%	17.0%	83.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
R1	138.34	35.39	1.9%	3.8%	9.6%	82.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
R3	140.10	36.14	2.9%	2.9%	5.7%	85.7%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
R4	139.12	36.83	2.7%	13.5%	5.4%	73.0%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%

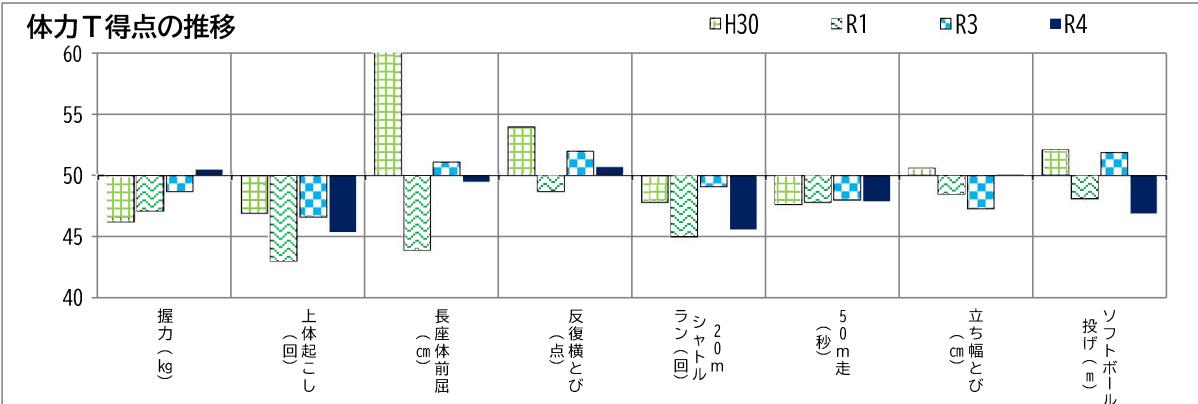
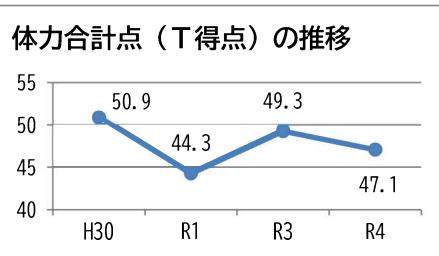
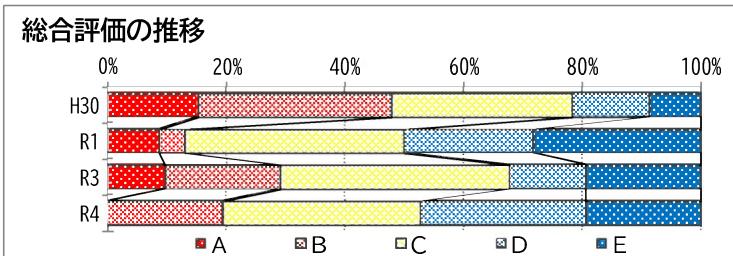


#### ②体力

小学校 5年男子	握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
H30	15.11	46.2	18.11	46.9	42.13	60.8	45.32	54.0	47.43	47.8	9.60	47.6	153.66	50.6
R1	15.28	47.1	15.63	43.0	28.23	43.9	40.75	48.7	39.68	45.0	9.65	47.8	148.04	48.5
R3	15.73	48.7	16.85	46.6	34.42	51.1	42.03	52.0	44.92	49.1	9.66	48.0	145.08	47.3
R4	16.39	50.5	16.11	45.4	33.32	49.5	40.95	50.7	36.76	45.6	9.80	47.9	151.14	50.1

小学校 5年男子	ソフトボール投げ(m)		体力合計点(点)		総合評価(%)				
	平均値	T得点	平均値	T得点	A	B	C	D	E
H30	23.89	52.1	55.07	50.9	15.2%	32.6%	30.4%	13.0%	8.7%
R1	20.05	48.1	48.37	44.3	8.7%	4.3%	37.0%	21.7%	28.3%
R3	22.11	51.9	51.87	49.3	9.7%	19.4%	38.7%	12.9%	19.4%
R4	17.76	46.9	49.53	47.1	0.0%	19.4%	33.3%	27.8%	19.4%

«注»  
※令和元年度に調査した小学校5年生は、本年度中学校2年生で調査している。  
※令和2年度調査は中止。

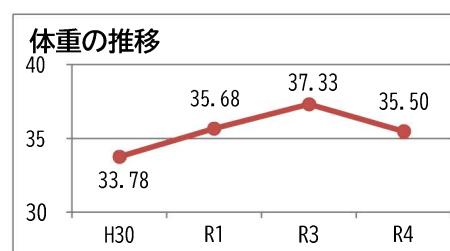
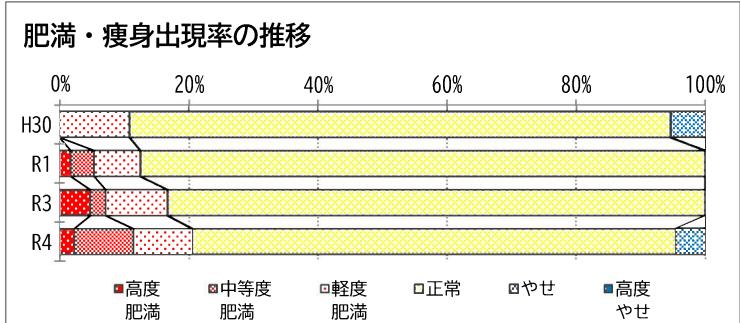


## 【小学校女子】

分析	身長・体重の平均は、上昇傾向で推移してきたが、令和4年度はいずれも下降に転じた。肥満傾向児の出現率は、平成30年度より上昇傾向にある。また、瘦身傾向児も増えつつあり、二極化している。体力合計点は、平成30年度より下降傾向にある。
----	--

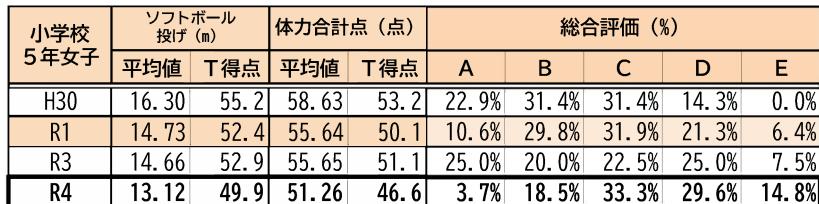
### ①体格

小学校 5年女子	身長(cm) 体重(kg)		肥満傾向児・瘦身傾向児の出現率(%)					
	平均値	平均値	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
H30	140.83	33.78	0.0%	0.0%	10.8%	83.8%	5.4%	0.0%
R1	140.77	35.68	1.8%	3.6%	7.1%	87.5%	0.0%	0.0%
R3	141.64	37.33	4.8%	2.4%	9.5%	83.3%	0.0%	0.0%
R4	139.44	35.50	2.3%	9.1%	9.1%	75.0%	4.5%	0.0%



### ②体力

小学校 5年女子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
H30	14.62	46.0	18.06	48.3	41.19	54.3	50.56	64.2	42.65	50.5	9.48	51.4	157.68	55.7
R1	16.46	51.0	17.87	48.0	34.91	46.8	41.18	51.4	40.19	49.6	9.62	50.2	150.27	52.2
R3	16.17	50.2	17.57	49.0	39.67	52.0	41.26	53.4	37.81	49.8	9.56	51.0	141.36	48.3
R4	16.86	52.0	15.97	46.2	34.90	46.4	38.79	50.2	28.21	44.5	10.27	44.3	144.71	50.1

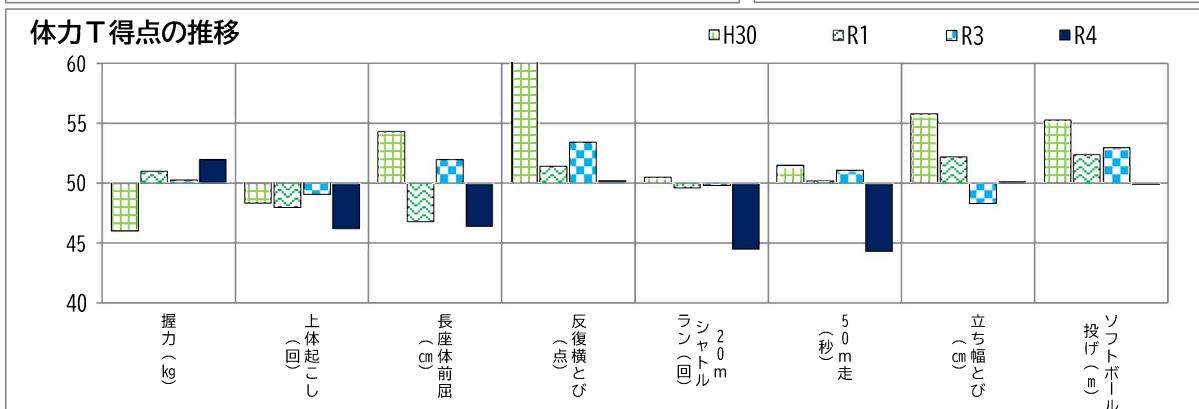
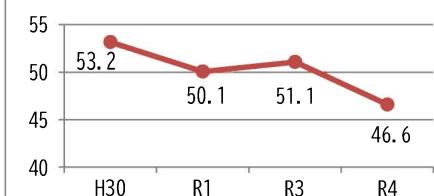


«注»

※令和元年度に調査した小学校5年生は、本年度中学校2年生で調査している。

※令和2年度調査は中止。

**体力合計点 (T得点)の推移**



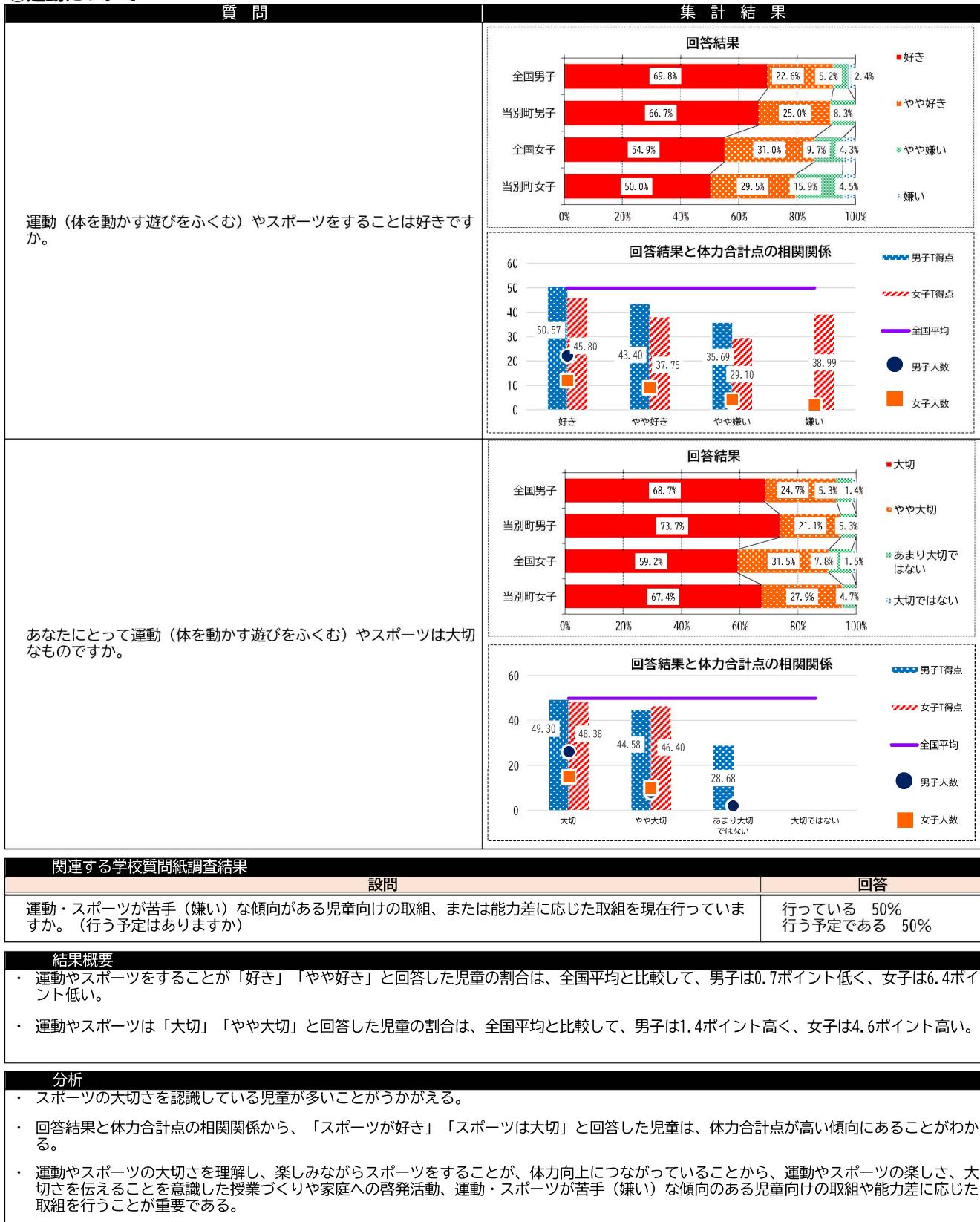
## 4) 運動習慣、生活習慣等に関する児童質問紙から

※質問の一部を抜粋しています。

※「回答結果と体力合計点の相関関係」で掲載しているT得点は、該当する児童の平均値です。

※回答者数が少ない結果については、個人の成績が特定される恐れがあるため、掲載していません。

### ①運動について

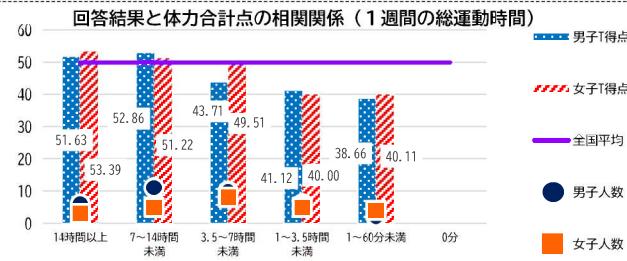
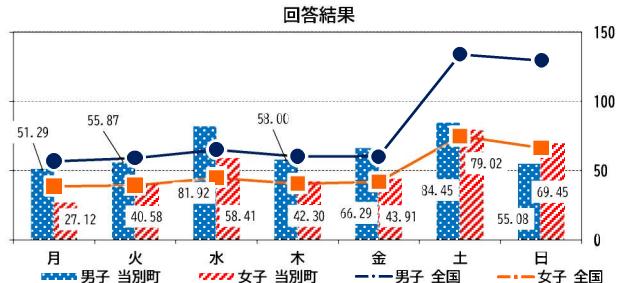


## ②運動習慣について

### 質問

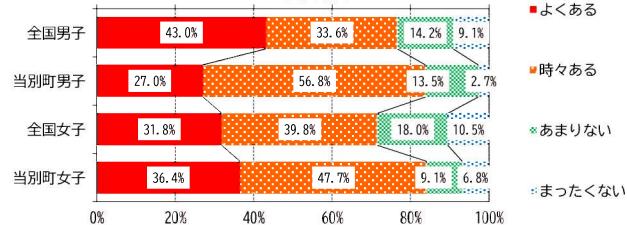
普段の1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。

### 集計結果

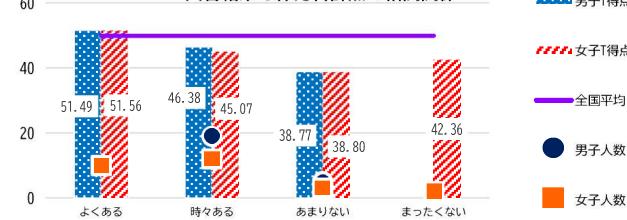


放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることがありますか。

### 回答結果

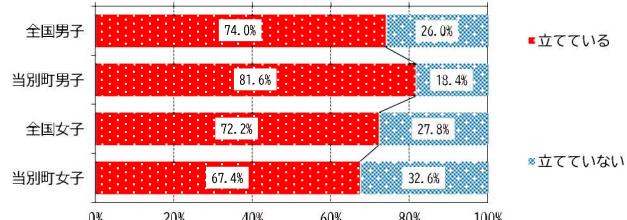


### 回答結果と体力合計点の相関関係

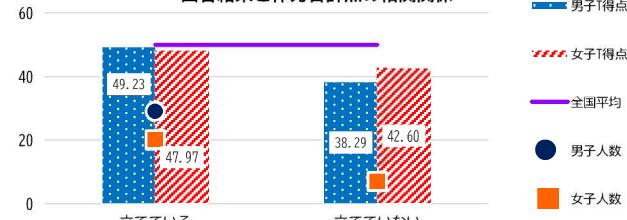


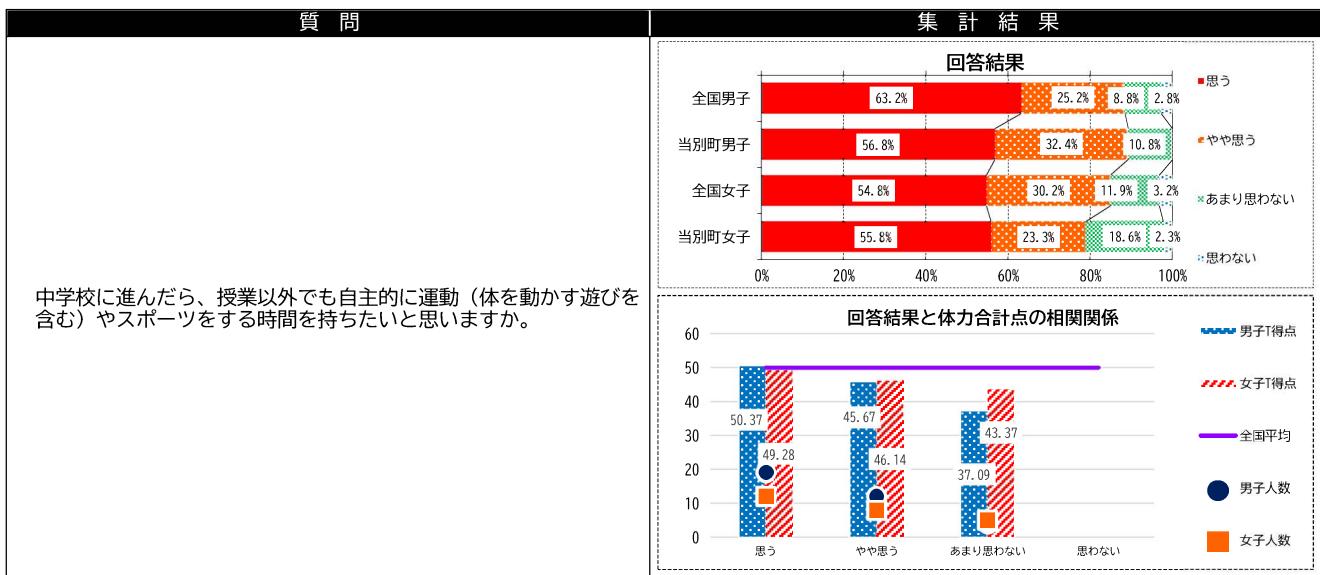
体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

### 回答結果



### 回答結果と体力合計点の相関関係





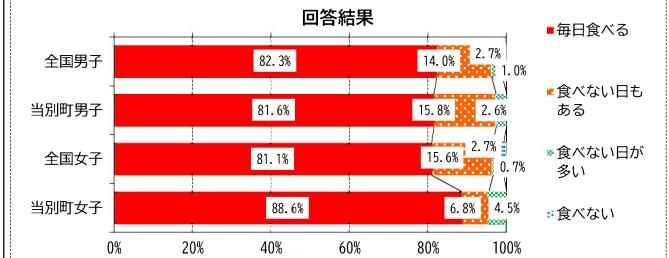
関連する学校質問紙調査結果	
設問	回答
令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。	設定していた 100%
令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。	全学年で設定していた 100%
令和3年度に、体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。	全ての児童に対して行った 100% (実施期間：年間を通して行った) (実施時間：中休み、昼休み)
(体力・運動能力の向上に係る取組について) どのような活動を行いましたか。 (複数回答)	縄跳び 100% 体操 50%
(体力・運動能力の向上に係る取組について) どのような取組を行いましたか。 (複数回答)	児童による自主的な準備・計画を取り入れた 50% 記録カードなどを活用し自己の成果を記録した 50% 児童生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した 50%

結果概要	
・ 全国平均と比較して、男子は休日における運動やスポーツなど体を動かす時間が少ない傾向にある。	
・ 放課後や休日に運動やスポーツをすることが「よくある」「時々ある」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は7.2ポイント高く、女子は12.5ポイント高い。	
・ 体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている児童の割合は、全国平均と比較して、男子は7.6ポイント高く、女子は4.8ポイント低い。	
・ 中学校に進んでからも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと「思う」「やや思う」と回答した児童の割合は、男子は0.8ポイント高く、女子は5.9ポイント低い。	
分析	
・ 運動やスポーツなど体を動かす時間が多い児童や放課後や休日に運動習慣がある児童、体力・運動能力の向上の目標を立てている児童は、体力合計点が高い傾向にある。運動習慣の確立や目標を持って取り組むことが体力向上に直結していることを示す結果となった。	
・ 児童のやる気を引き出し、体力・運動能力の向上に向けた取組を継続して行うことは、運動習慣の定着とともに、さらなる体力向上が見込まれる。	

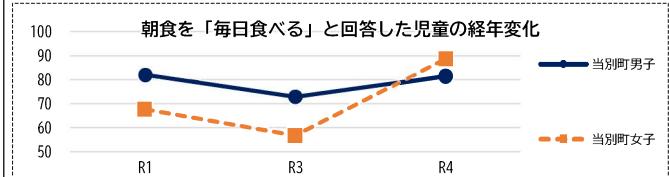
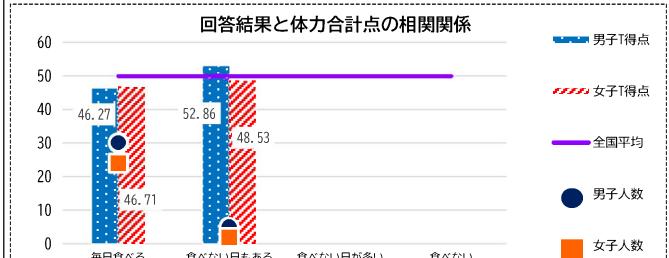
### ③生活習慣について

#### 質問

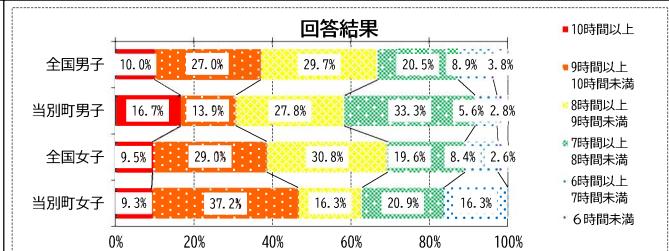
#### 集計結果



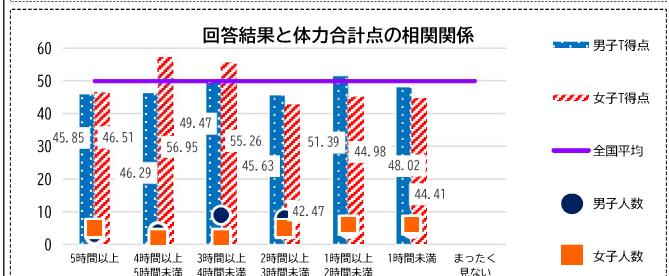
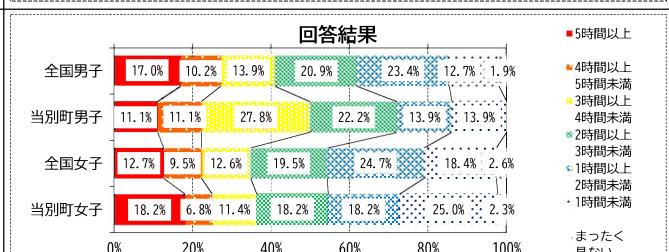
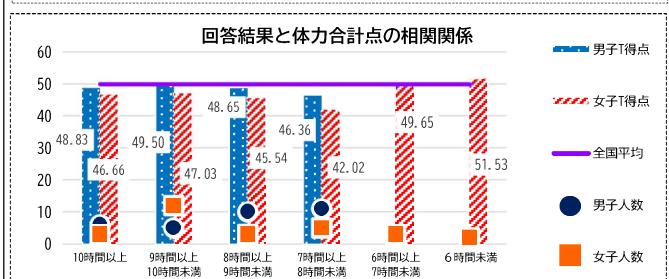
朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)



毎日どのくらい寝ていますか。



平日（月～金曜日）について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



関連する学校質問紙調査結果	
設問	回答
運動やスポーツ、児童の体力について、家庭とどのような連携をしていますか。 (複数回答)	生活習慣改善のための資料を配布 50% 体力に関する調査の結果を家庭に連絡 100%
健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、児童に伝えていますか。	機会を捉えて適宜伝えている 100%

#### 結果概要

- 朝食を毎日食べると回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は0.7ポイント低く、女子は7.5ポイント高い。
- 毎日8～10時間の睡眠をとる児童の割合は、全国平均と比較して、男子は15ポイント低く、女子は6.3ポイント低い。
- テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を3時間以上見ている児童の割合は、全国平均と比較して、男子は8.9ポイント高く、女子は1.6ポイント高い。

#### 分析

- 朝食を毎日食べると回答した児童が、経年変化で増加しており、改善が図られている。これは「健康三原則」の大切さを機会を捉えて適宜伝えていることで、朝食を食べる習慣の定着につながったものとみられる。
- 平日のスクリーンタイム（※）を3時間以上と回答した児童の増加の割合が、全国と比較しても高い傾向が見られる。このことは睡眠時間等の基本的生活習慣に影響することから、「健康三原則」の大切さや体力向上について、子どもの意識改革だけでなく、保護者への啓発を継続していくことが大事である。

※スクリーンタイム：テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレット端末・ゲーム機等の使用時間

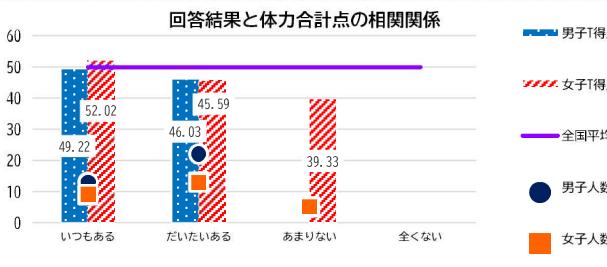
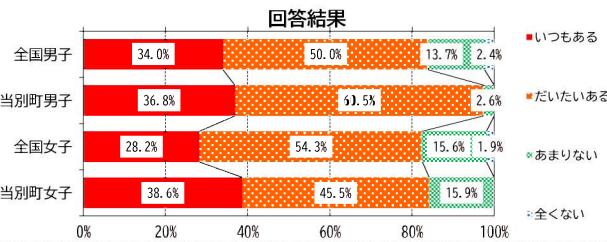
#### ④体育の授業について



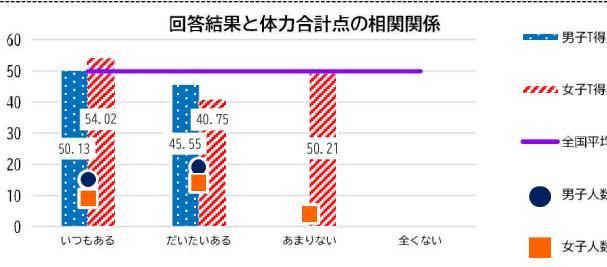
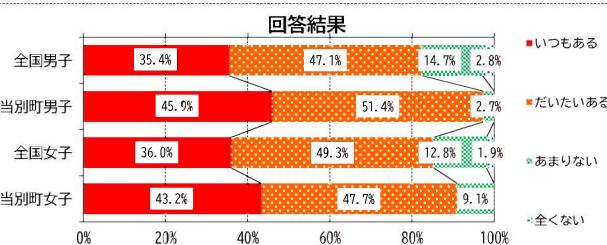
## 質問

## 集計結果

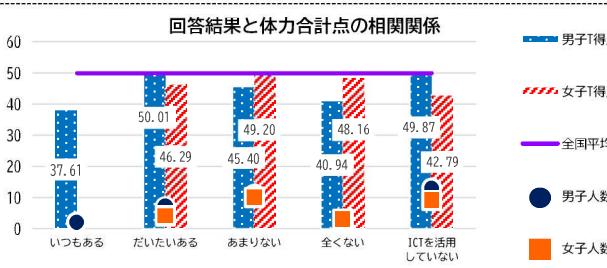
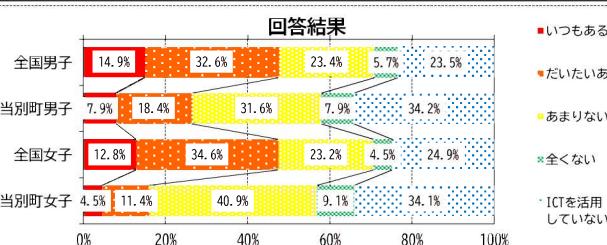
体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。

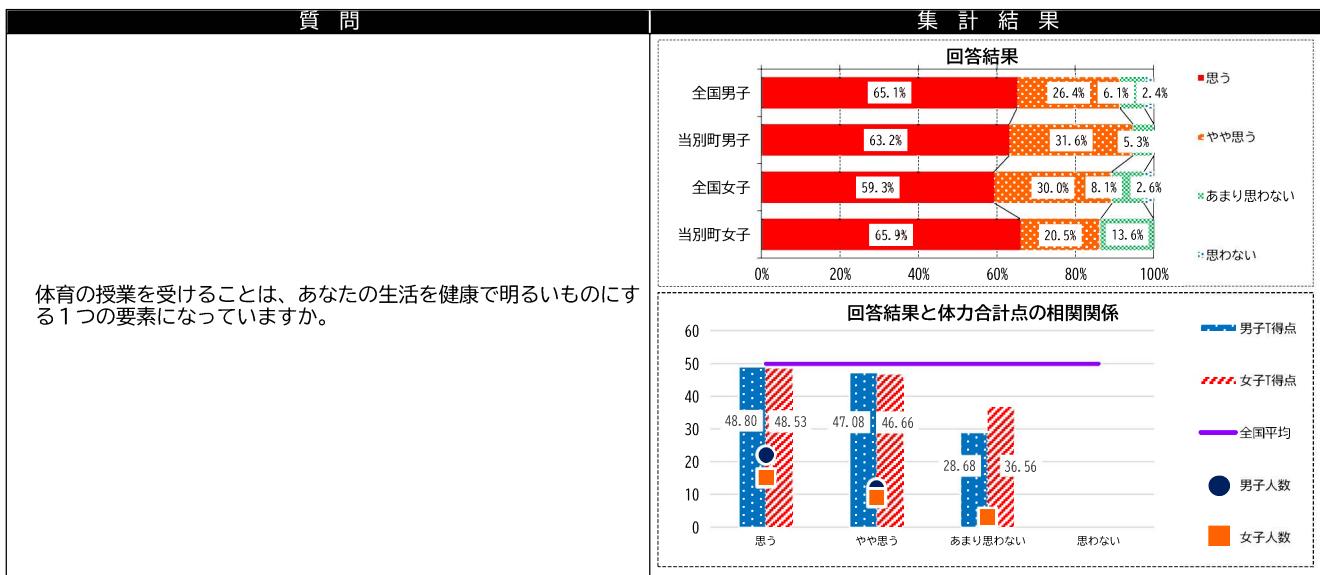


体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。

(回答率上位3位までを抜粋)	
・先生や友達のまねをしてみた	男子71.1% 女子70.5%
・友達に教えてもらった	男子47.4% 女子65.9%
・授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	男子36.8% 女子47.7%



体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。

関連する学校質問紙調査結果	
設問	回答
令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。	反映した 100%
令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。	行った 100%
体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて、ねらい等）を児童に示す活動を取り入れていますか。	いつも取り入れている 50% だいたい取り入れている 50%
体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。	だいたい取り入れている 100%
体育の授業では、児童同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	いつも取り入れている 50% だいたい取り入れている 50%
体育の授業では、児童同士で話し合う活動を取り入れていますか。	全ての学年で取り入れている 50% 一部の学年で取り入れている 50%
体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	月に1回程度 50% 年に数時間 50%
体育の授業におけるICTの活用場面（複数回答）	児童の動きを撮影し、児童同士で確認 100% ゲームや試合の様子を撮影し、作戦の参考にする 50% 以前に撮影した動きと比較し、変容を確認 50%
体育の授業で教科担任制を導入していますか。	導入している 100%

#### 結果概要

- 体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は6ポイント高く、女子は3.6ポイント高い。
- 体育の授業で「いつも進んで学習している」「だいたい進んで学習している」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は1.7ポイント高く、女子は0.4ポイント低い。
- 体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は10.9ポイント高く、女子は10.5ポイント高い。
- 体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は13.3ポイント高く、女子は1.6ポイント高い。
- 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は14.8ポイント高く、女子は5.6ポイント高い。
- 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は21.2ポイント低く、女子は31.5ポイント低い。また、授業で「ICTを活用していない」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男女ともに、10ポイント程度低い。
- 体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていると「思う」「やや思う」と回答した児童の割合は、全国平均と比較して、男子は3.3ポイント高く、女子は2.9ポイント低い。

#### 分析

- 体育の授業で、授業の目標を示したり、振り返りの場面や協働的な学習を取り入れたりするなど、授業の質の向上に取り組んでいる。授業の目的を把握しながら学習に取り組めている児童は、体力合計点が高い傾向にあるので、引き続き授業改善を進め、体力の底上げを図ることが重要である。
- 体育の授業におけるICTの活用に課題があるため、どのような場面でICTを活用できるかについて教職員の理解を深めることが必要である。
- 体育に対する意識において、「楽しい」と感じている児童の体力合計点には、高い相関関係がある。まずは、児童にとって体育の授業が楽しいという経験の積み重ねが重要である。具体的には、児童がめあてを明確に持ち、その達成に向かって学び合い、効果的にICTを活用する主体的かつ対話的な授業づくりを進める必要がある。

### III 中学校の結果

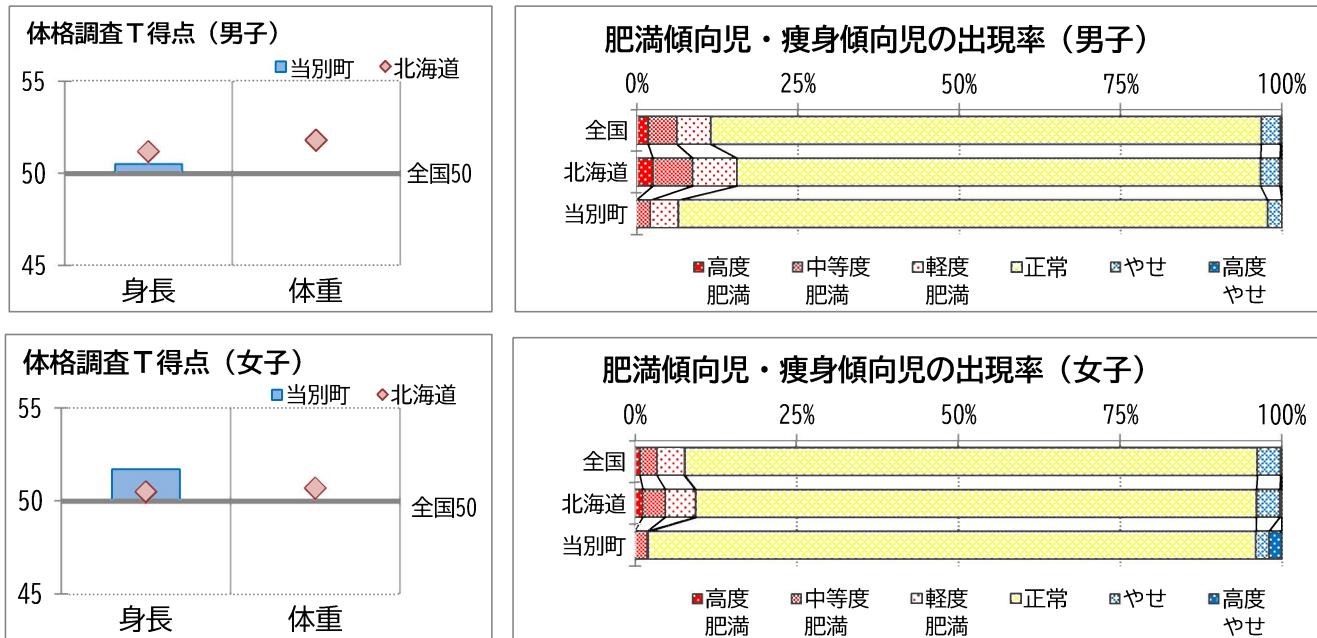
#### 1) 体格に関する調査

【中学校男子】	身長の平均は全国より0.5ポイント高く、体重の平均ほぼ全国平均並みである。肥満傾向児の出現率は全国より5.0ポイント低く、痩身傾向児の出現率は全国より1.0ポイント低い結果となり、極端な肥満・痩身傾向は見られなかった。								
【中学校女子】	身長の平均は全国より1.7ポイント高く、体重の平均ほぼ全国平均並みである。肥満傾向児の出現率が全国より5.7ポイント低く、痩身傾向児の出現率が全国より0.2ポイント高い結果となり、極端な肥満・痩身傾向は見られなかった。								

中学校 2年男子	身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
全国	161.05	50.0	50.45	50.0	1.9%	4.4%	5.2%	85.4%	3.0%	0.2%
北海道	161.92	51.2	52.30	51.8	2.6%	6.1%	6.8%	81.2%	3.0%	0.3%
当別町	161.39	50.5	50.48	50.0	0.0%	2.2%	4.3%	91.3%	2.2%	0.0%

中学校 2年女子	身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
全国	154.92	50.0	47.09	50.0	0.9%	2.6%	4.2%	88.5%	3.6%	0.2%
北海道	155.20	50.5	47.61	50.7	1.3%	3.5%	4.6%	86.8%	3.6%	0.3%
当別町	155.83	51.7	47.12	50.0	0.0%	2.0%	0.0%	93.9%	2.0%	2.0%

※全国・北海道の値は、公立校を対象としたものです。



#### 《用語と解説》

用語	解説
平均値	調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値=調査結果の総和/標本数」
T得点	全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 「平均値50点、標準偏差10点の標準得点。「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」」

#### 《標準体重と肥満度判定》

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

#### 《標準体重を求める係数》

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
12 (中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13 (中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14 (中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より  
平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

#### 《判定基準》

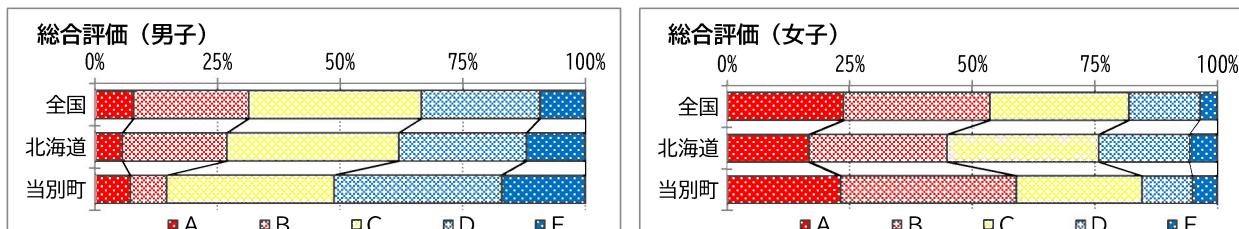
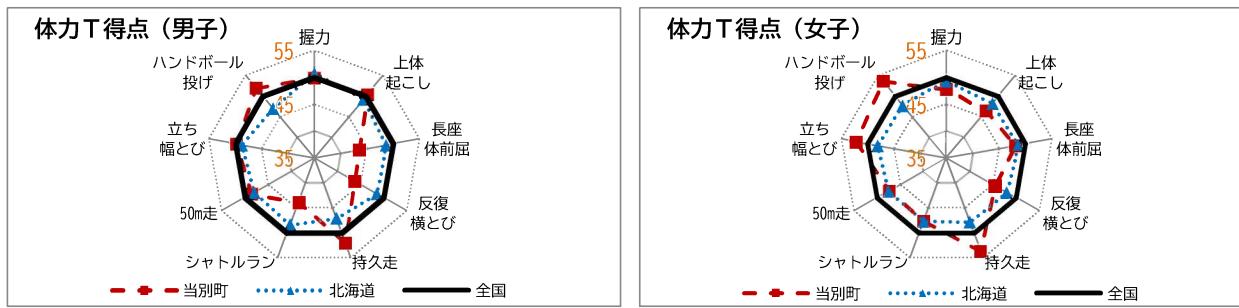
肥満度	判定
50%以上	高度肥満
30 ~ 49.9%	中等度肥満
20 ~ 29.9%	軽度肥満
-19.9 ~ 19.9%	正常
-29.9 ~ -20%	やせ
-30%以下	高度やせ

## 2) 体力・運動能力（実技）に関する調査

【中学校男子】	上体起こし、持久走の2種目で全国平均を上回った。体力合計点は、全国平均を4.4ポイント下回った。握力、立ち幅跳びは、ほぼ全国平均並みだが、過年度との比較では減少傾向となっている。 総合評価は、AとBの合計の割合が全国平均より16.8ポイント低く、DとEの合計の割合が全国平均より17.7ポイント高いことから、上位層の生徒が少なく、下位層の生徒が多いことがうかがえる。
【中学校女子】	持久走、立ち幅とび、ハンドボール投げの3種目で全国平均を上回った。体力合計点は、全国平均を0.7ポイント上回った。 総合評価は、AとBの割合が全国平均より5.4ポイント高く、DとEの合計の割合が全国平均より2.7ポイント低いことから、上位層の生徒が多く、下位層の生徒が少ないことがうかがえる。

【中学校男子】

【中学校女子】



男子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	28.99	50.0	25.74	50.0	43.87	50.0	51.05	50.0
北海道	29.59	50.8	25.31	49.3	42.33	48.6	49.70	48.5
当別町	28.92	49.9	26.02	50.4	36.56	43.5	45.40	43.7

女子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	23.21	50.0	21.67	50.0	46.07	50.0	45.81	50.0
北海道	22.93	49.4	20.69	48.3	44.62	48.6	44.33	48.0
当別町	22.18	47.8	19.60	46.5	44.10	48.1	42.50	45.5

男子	持久走 (秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	409.81	50.0	78.07	50.0	8.06	50.0	196.89	50.0
北海道	431.39	47.0	73.63	48.3	8.28	48.0	193.37	48.8
当別町	395.60	52.0	62.00	43.8	8.21	48.6	196.17	49.8

女子	持久走 (秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
全国	302.89	50.0	51.60	50.0	8.96	50.0	167.04	50.0
北海道	313.68	47.8	46.94	47.6	9.19	47.6	162.10	48.1
当別町	285.29	53.6	46.80	47.6	9.21	47.4	172.86	52.2

男子	ハンドボール投げ (m)		体力合計点 (点)		総合評価 (%)			
	平均値	T得点	平均値	T得点	A	B	C	D
全国	20.28	50.0	41.04	50.0	7.9%	23.5%	35.2%	24.2%
北海道	19.92	49.4	39.63	48.7	5.6%	21.3%	35.1%	26.0%
当別町	17.72	45.8	36.32	45.6	7.3%	7.3%	34.1%	34.1%
					9.3%			

女子	ハンドボール投げ (m)		体力合計点 (点)		総合評価 (%)			
	平均値	T得点	平均値	T得点	A	B	C	D
全国	12.45	50.0	47.42	50.0	23.8%	29.8%	28.3%	14.5%
北海道	12.16	49.3	44.85	47.8	16.8%	28.1%	30.9%	18.5%
当別町	13.49	52.5	48.23	50.7	23.1%	35.9%	25.6%	10.3%
					3.6%			
					5.7%			
					5.1%			

### «体力テスト種目と要素»

体力テスト種目	単位	体力要素	測定
① 握力	kg	筋力	左右握力の平均値
② 上体起こし	回	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
③ 長座体前屈	cm	柔軟性	長座位で前屈したときの両手への移動距離
④ 反復横とび	点	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
⑤-1 持久走	秒	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
⑤-2 20mシャトルラン	回	全身持久力	20m走行の折り返し回数
⑥ 50m走	秒	疾走能力	50mの疾走時間
⑦ 立ち幅とび	cm	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
⑧ ハンドボール投げ	m	巧緻性・投球能力	ハンドボール2号球を遠投した距離
体力合計点	点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点	
総合評価	5段階	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	Aは57点以上、Bは47~56点、Cは37~46点、Dは27~36点、Eは26点以下

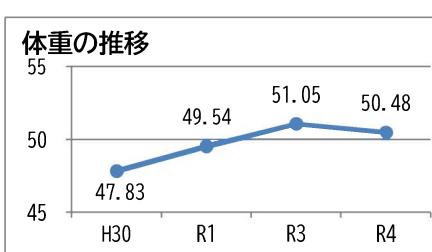
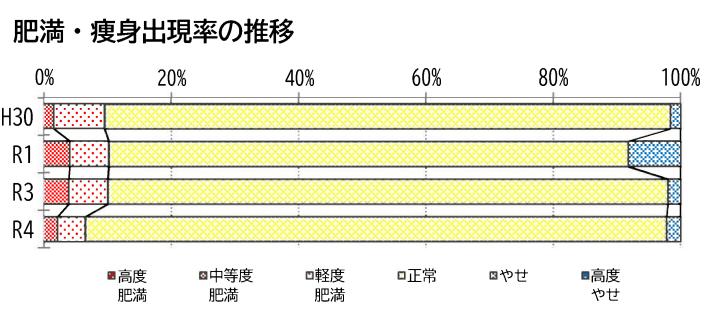
### 3) 過年度との比較

#### 【中学校男子】

分析	身長の平均は上昇傾向で推移している。体重の平均は下降に転じた。肥満傾向児の出現率は令和3年度より下降したものの、極端な肥満・痩身傾向はみられず、平均的な体格の生徒が多い状態で推移している。体力合計点は、令和3年度より4.5ポイント下降した。令和4年度に調査した中学校2年生は、令和元年度に小学校5年生で調査対象となっているが、当時（4p参照）と比較して、体力合計点は1.3ポイント上昇であり、体力の向上がみられる結果となった。
----	---

#### ①体格

中学校 2年男子	身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
	平均値	平均値	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ		
H30	159.57	47.83	0.0%	1.6%	7.9%	88.9%	1.6%	0.0%		
R1	160.75	49.54	0.0%	4.1%	6.1%	81.6%	8.2%	0.0%		
R3	160.99	51.05	0.0%	4.0%	6.0%	88.0%	2.0%	0.0%		
R4	161.39	50.48	0.0%	2.2%	4.3%	91.3%	2.2%	0.0%		



#### ②体力

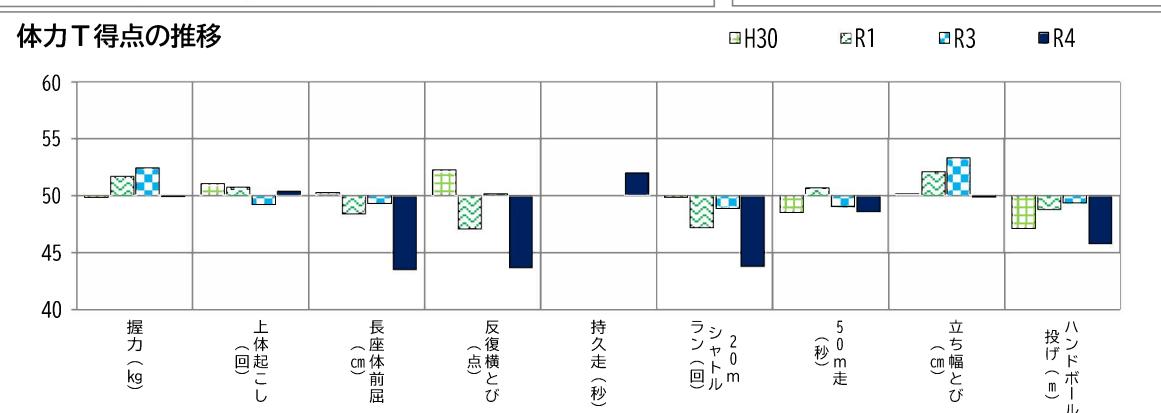
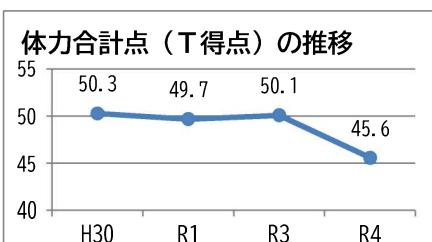
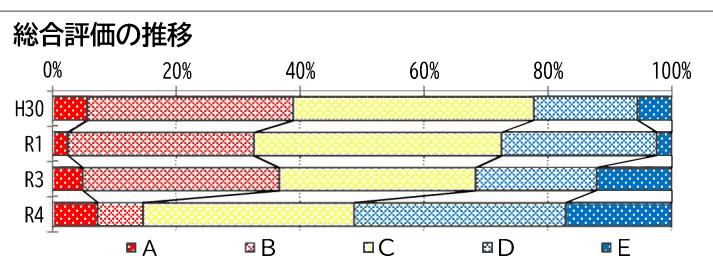
中学校 2年男子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		持久走 (秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
H30	28.73	49.8	28.00	51.0	43.60	50.2	54.02	52.2	85.60	49.8	8.12	48.5		
R1	29.83	51.7	27.38	50.7	41.83	48.4	49.54	47.1	76.75	47.2	7.97	50.6		
R3	30.53	52.4	25.50	49.2	42.92	49.3	51.32	50.2	77.11	48.9	8.10	49.0		
R4	28.92	49.9	26.02	50.4	36.56	43.5	45.40	43.7	395.60	52.0	62.00	43.8	8.21	48.6

«注»

中学校 2年男子	立ち幅とび (cm)		ハンドボール投げ (m)		体力合計点 (点)		総合評価 (%)				
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	A	B	C	D	E
H30	195.79	50.1	18.89	47.1	42.59	50.3	5.6%	33.3%	38.9%	16.7%	5.6%
R1	200.89	52.1	19.71	48.8	41.43	49.7	2.5%	30.0%	40.0%	25.0%	2.5%
R3	205.66	53.2	19.90	49.3	41.27	50.1	4.9%	31.7%	31.7%	19.5%	12.2%
R4	196.17	49.8	17.72	45.8	36.32	45.6	7.3%	7.3%	34.1%	34.1%	17.1%

※本年度に調査した中学校2年生は令和元年度に小学校5年生で実施している。  
(4P参照)

※令和2年度調査は中止。

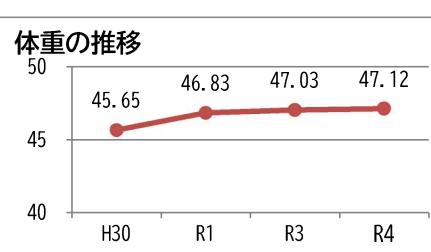
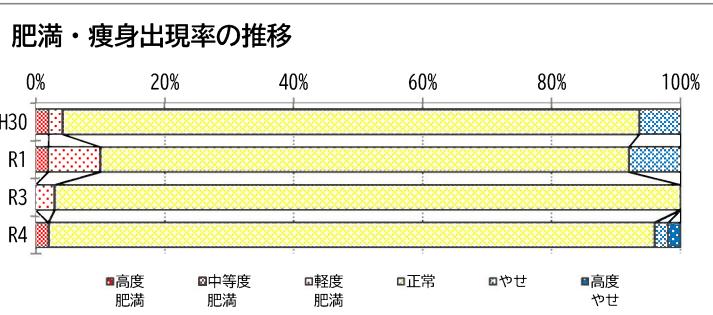
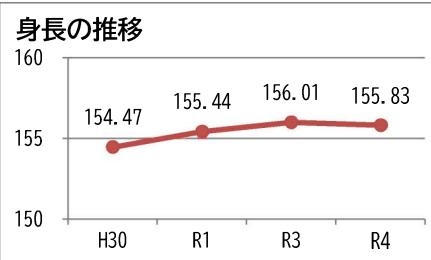


## 【中学校女子】

分析	身長の平均はやや下降したものの、ほぼ横ばいで推移している。体重の平均は上昇傾向で推移している。肥満傾向児・痩身傾向児の出現率ともに、令和3年度より上昇したもの、極端な肥満・痩身傾向はみられず、平均的な体格の生徒が多い状態で推移している。 体力合計点は、令和3年度より1.9ポイント下降した。 令和4年度に調査した中学校2年生は、令和元年度に小学校5年生で調査対象となっているが、当時（5p参照）と比較して、体力合計点は0.6ポイント上昇であり、体力の向上がみられる結果となった。
----	---

### ①体格

中学校 2年女子	身長 (cm)		体重 (kg)		肥満傾向児・痩身傾向児の出現率 (%)					
	平均値	T得点	平均値	T得点	高度 肥満	中等度 肥満	軽度 肥満	正常	やせ	高度 やせ
H30	154.47	45.65	0.0%	2.1%	2.1%	89.4%	6.4%	0.0%		
R1	155.44	46.83	0.0%	2.0%	8.0%	82.0%	8.0%	0.0%		
R3	156.01	47.03	0.0%	0.0%	2.9%	97.1%	0.0%	0.0%		
R4	155.83	47.12	0.0%	2.0%	0.0%	93.9%	2.0%	2.0%		



### ②体力

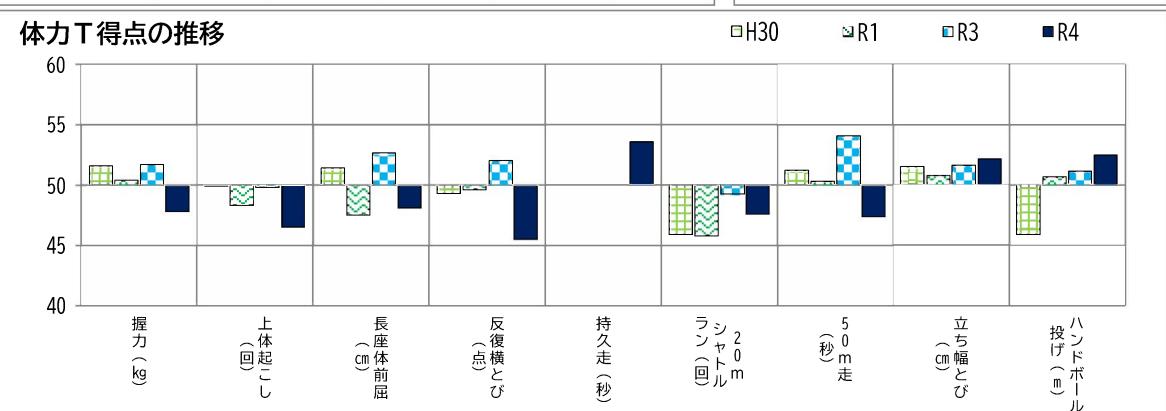
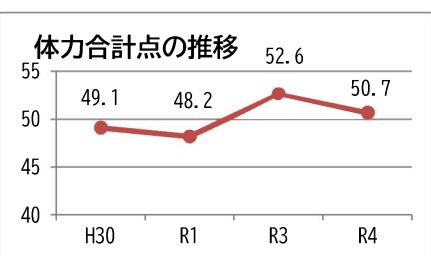
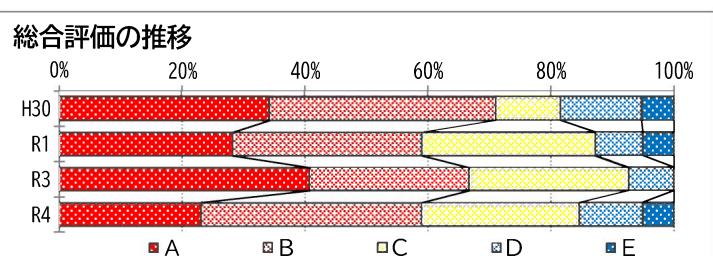
中学校 2年女子	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (点)		持久走 (秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)	
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点
H30	24.62	51.6	23.80	49.9	47.61	51.4	46.91	49.3			51.53	45.9	8.68	51.2
R1	23.98	50.4	22.72	48.3	43.81	47.5	47.02	49.6			49.94	45.8	8.79	50.3
R3	24.23	51.7	22.18	49.8	48.86	52.6	47.64	52.0			52.55	49.2	8.55	54.0
R4	22.18	47.8	19.60	46.5	44.10	48.1	42.50	45.5	285.29	53.6	46.80	47.6	9.21	47.4

«注»

中学校 2年女子	立ち幅とび (cm)		ハンドボール投げ (m)		体力合計点 (点)		総合評価 (%)				
	平均値	T得点	平均値	T得点	平均値	T得点	A	B	C	D	E
H30	173.82	51.5	11.28	45.9	49.61	49.1	34.2%	36.8%	10.5%	13.2%	5.3%
R1	171.92	50.8	13.24	50.7	48.26	48.2	28.2%	30.8%	28.2%	7.7%	5.1%
R3	172.17	51.6	13.19	51.1	51.48	52.6	40.7%	25.9%	25.9%	7.4%	0.0%
R4	172.86	52.2	13.49	52.5	48.23	50.7	23.1%	35.9%	25.6%	10.3%	5.1%

※本年度に調査した中学校2年生は令和元年度に小学校5年生で実施している。(4P参照)

※令和2年度調査は中止。



#### 4) 運動習慣、生活習慣等に関する生徒質問紙から

※質問の一部を抜粋しています。

※「回答結果と体力合計点の相関関係」で掲載しているT得点は、該当する生徒の平均値です。

※回答者数が少ない結果については、個人の成績が特定される恐れがあるため、掲載していません。

##### ①運動について



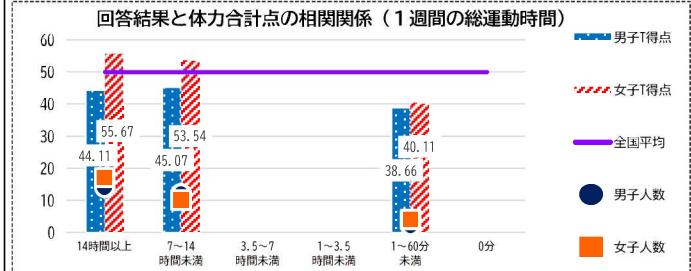
## ②運動習慣について

### 質問

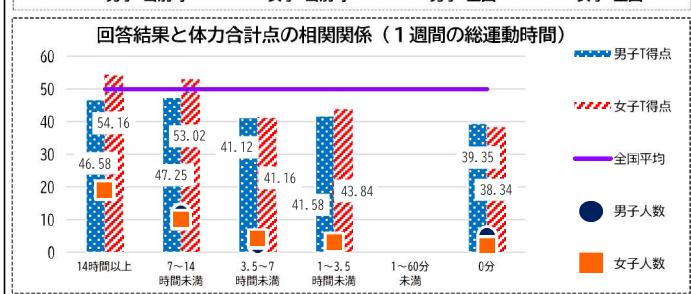
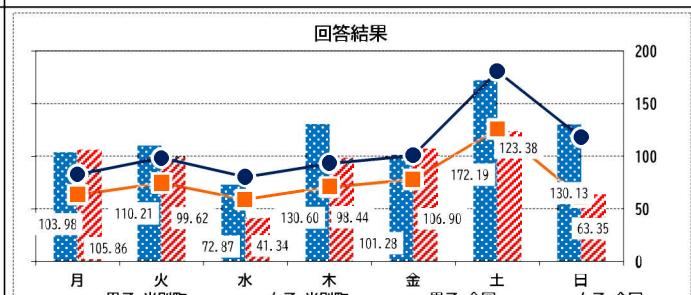
### 集計結果



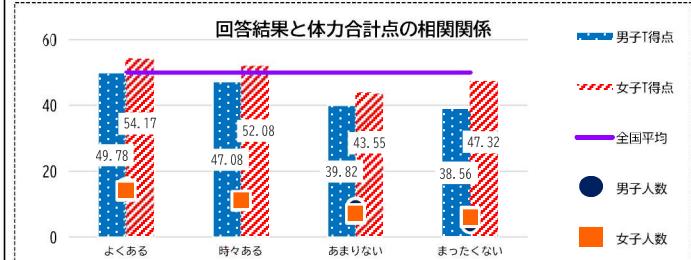
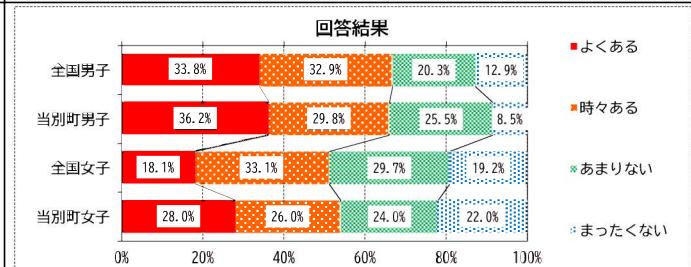
部活動で1日およそどのくらいの時間、運動していますか。

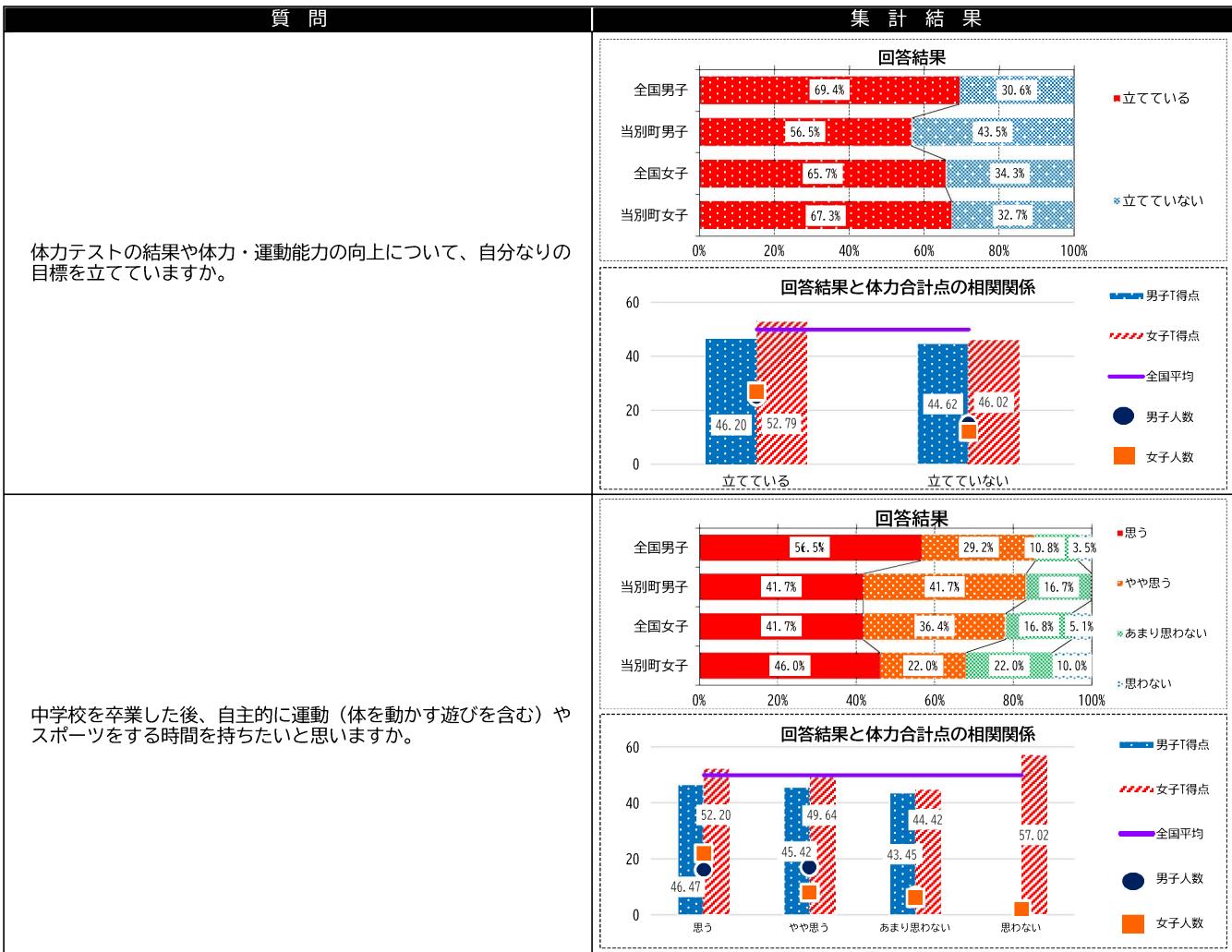


普段の1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。



放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。





関連する学校質問紙調査結果	
設問	回答
令和3年度に、生徒の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか	設定していた 100%
令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか	全学年で設定していた 100%
令和3年度に、体育授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか	全ての生徒に対して行った 100% (実施期間：年間を通して行った、半年程度行った) (実施時間：昼休み、放課後)
(体力・運動能力の向上に係る取組について) どのような活動を行いましたか (複数回答)	ランニング 50% ボール運動 50% 運動遊び 50%
(体力・運動能力の向上に係る取組について) どのような取組を行いましたか (複数回答)	縦割り(異学年)での交流を行った 50% 生徒による自主的な準備・計画を取り入れた 100% 学級対抗などの対戦形式を取り入れた 100%

**結果概要**

- 男女ともに、全国平均と比較して、水曜日を除き、部活動での運動時間が多い傾向にある。
- 保健体育の授業以外で運動やスポーツをする時間は、男女ともに、全国平均と同等またはやや上回っている。
- 放課後や休日に運動やスポーツをすることが「よくある」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は2.4ポイント高く、女子は9.9ポイント高い。
- 体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は12.9ポイント低く、女子は1.6ポイント高い。
- 中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は、男子は2.3ポイント低く、女子は10.1ポイント低い。

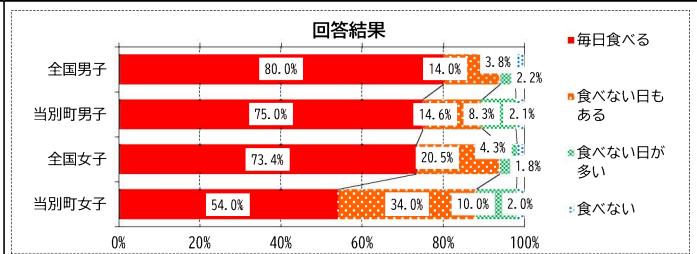
**分析**

- 学校における体力向上に向けた目標設定や、運動やスポーツが苦手（嫌い）な生徒を対象とした取組を行った結果、中学校段階での運動習慣が定着しているものと見られる。
- 目標を立てて運動に取り組む生徒が、男子で少ない傾向にあり、また、中学校卒業後にも運動を続けたい生徒も少ない傾向にあることから、生涯を通じて運動に取り組むことの重要性を生徒に意識させることが必要である。
- 運動時間が長い生徒や放課後や休日に運動習慣がある生徒、体力・運動能力の向上の目標を立てている生徒は、体力合計点が高い傾向にあり、運動習慣の確立や目標を持って取り組むことが、体力向上に直結していることを示す結果となった。
- 生徒のやる気を引き出し、体力・運動能力の向上に向けた取組を継続して行うことは、運動習慣の定着とともに、さらなる体力向上が見込まれる。

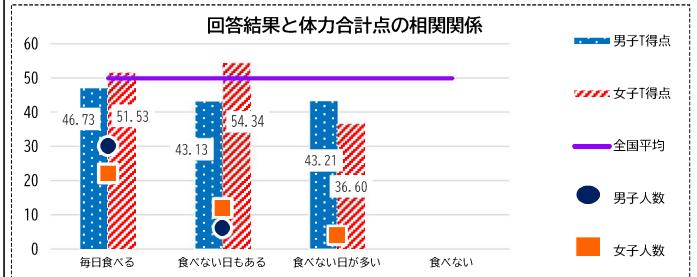
### ③生活習慣について

#### 質問

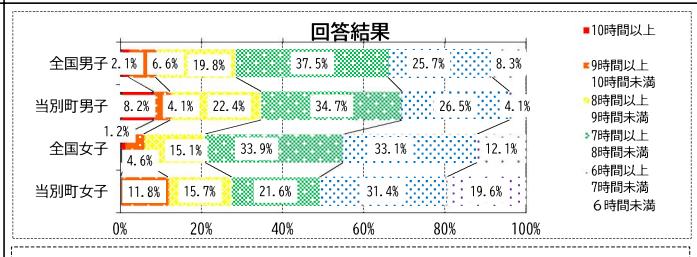
#### 集計結果



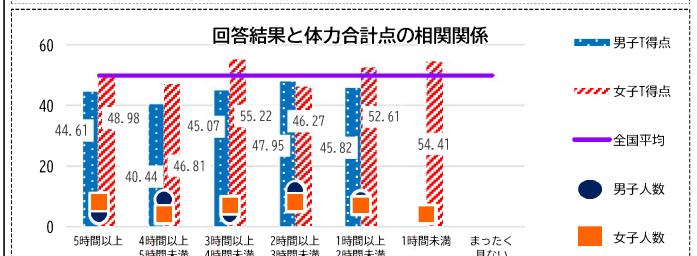
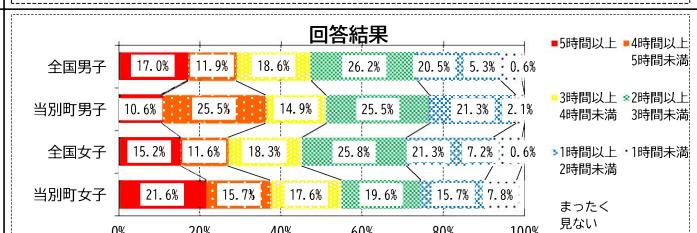
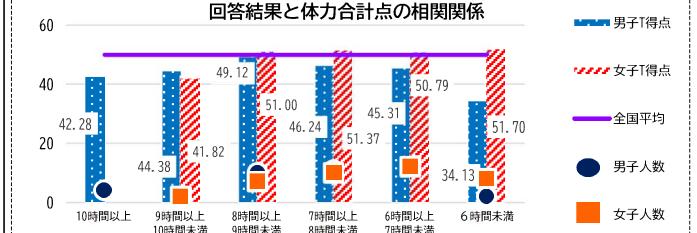
朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日も含めます)



毎日どのくらい寝ていますか。



平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



関連する学校質問紙調査結果	
設問	回答
運動やスポーツ、生徒の体力について、家庭とどのような連携をしていますか。（複数回答）	生活習慣改善のための資料を配布 50% 体力に関する調査の結果を家庭に連絡 100%
健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、生徒に伝えていますか。	機会を捉えて適宜伝えている 100%

#### 結果概要

- 朝食を毎日食べると回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は5ポイント低く、女子は19.4ポイント低い。
- 毎日8～10時間の睡眠をとる生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は0.1ポイント高く、女子は7.9ポイント低い。
- テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を3時間以上見ている生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は3.5ポイント高く、女子は9.8ポイント高い。

#### 分析

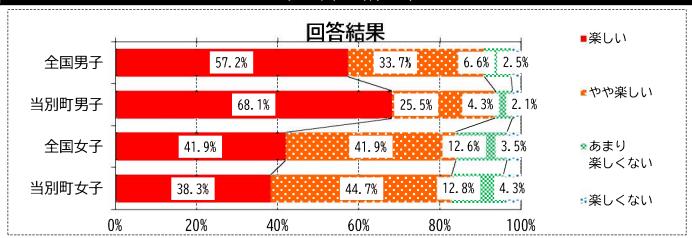
- 朝食の習慣においては、令和元年度からの経年変化より、男子は毎日食べる習慣の定着がみられるが、女子は朝食を毎日食べると回答する割合が減少傾向にある。今後も「健康三原則」の大切さを伝える取組や体力向上に関する家庭との連携を引き続き進める必要がある。
- 平日のスクリーンタイム（※）の時間は男女ともに増加しているが、特に女子において「5時間以上」と回答した生徒の割合の増加の幅が大きい。このことは睡眠時間にも影響することから、基本的生活習慣について生徒の意識改革を促すとともに、保護者への啓発を継続していくことが重要である。

※スクリーンタイム：テレビ・パソコン・スマートフォン・タブレット端末・ゲーム機等の使用時間

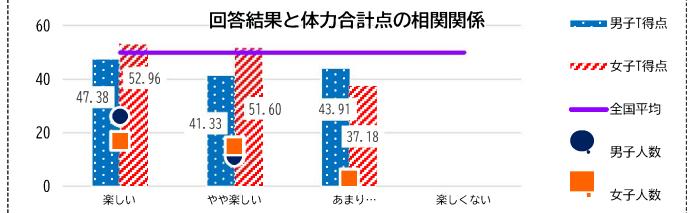
#### ④体育の授業について

##### 質問

##### 集計結果



保健体育の授業は楽しいですか。

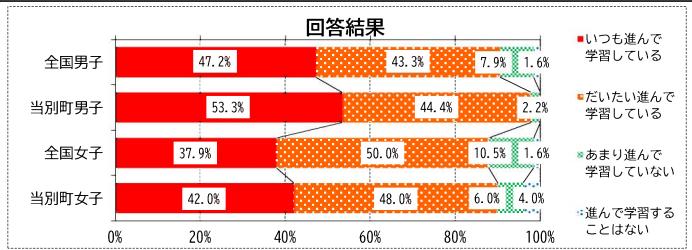


##### 「楽しい」「やや楽しい」と思う理由（回答率上位2位までを抜粋）

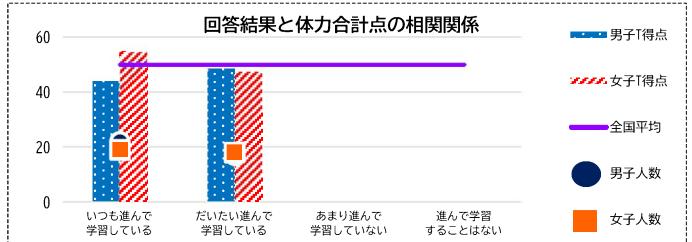
- 友達と一緒にできるから 男子63.6% 女子78.9%
- 自分が好きな種目、できる種目があるから 男子59.1% 女子60.5%

(「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した場合) 今後どのようなことがあれば、今より体育の授業が楽しくなると思いますか。（回答率上位2位までを抜粋）

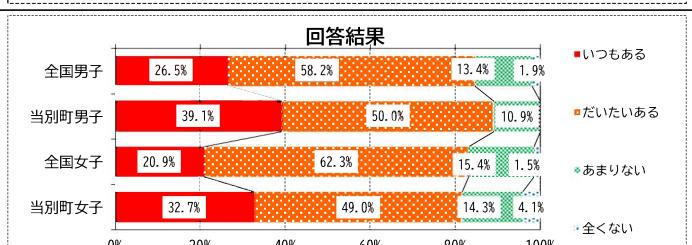
- できなかつたことができるようになったら 男子33.3% 女子62.5%
- 人と比較されないようになったら 男子33.3% 女子37.5%
- 自分のペースで行うことができたら 女子62.5%



保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



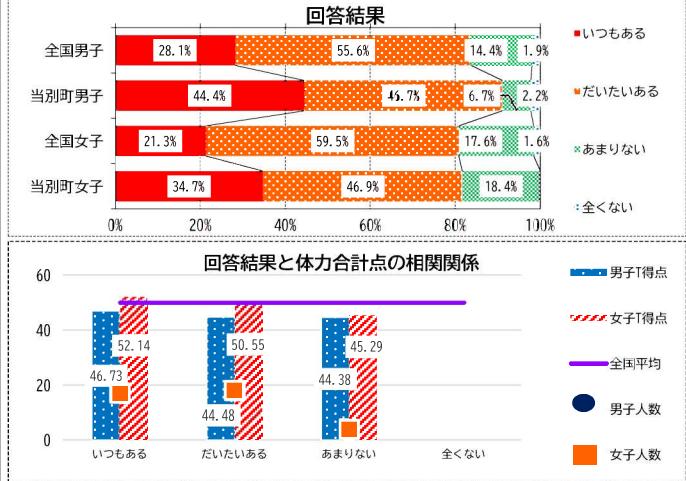
保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



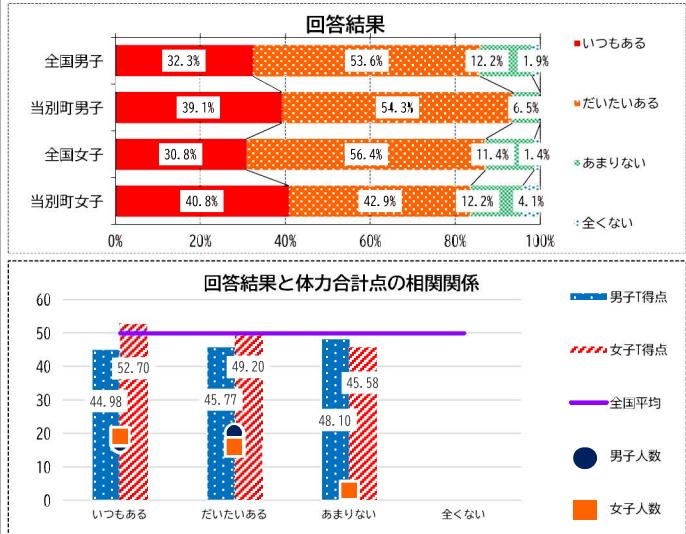
## 質問

## 集計結果

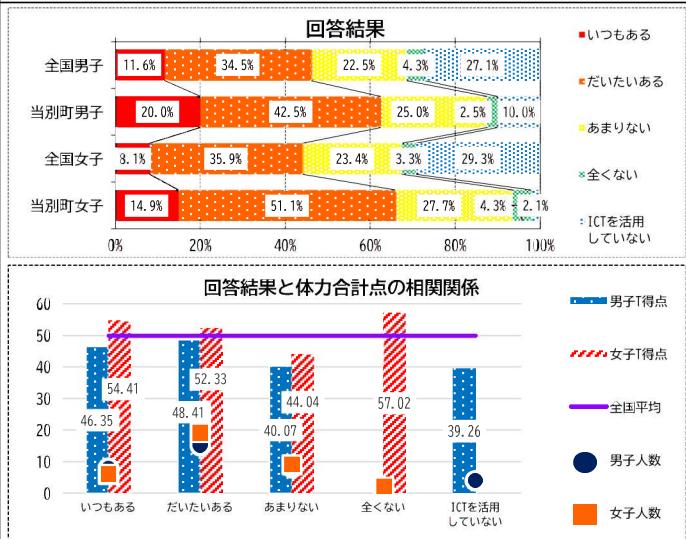
保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することありますか。



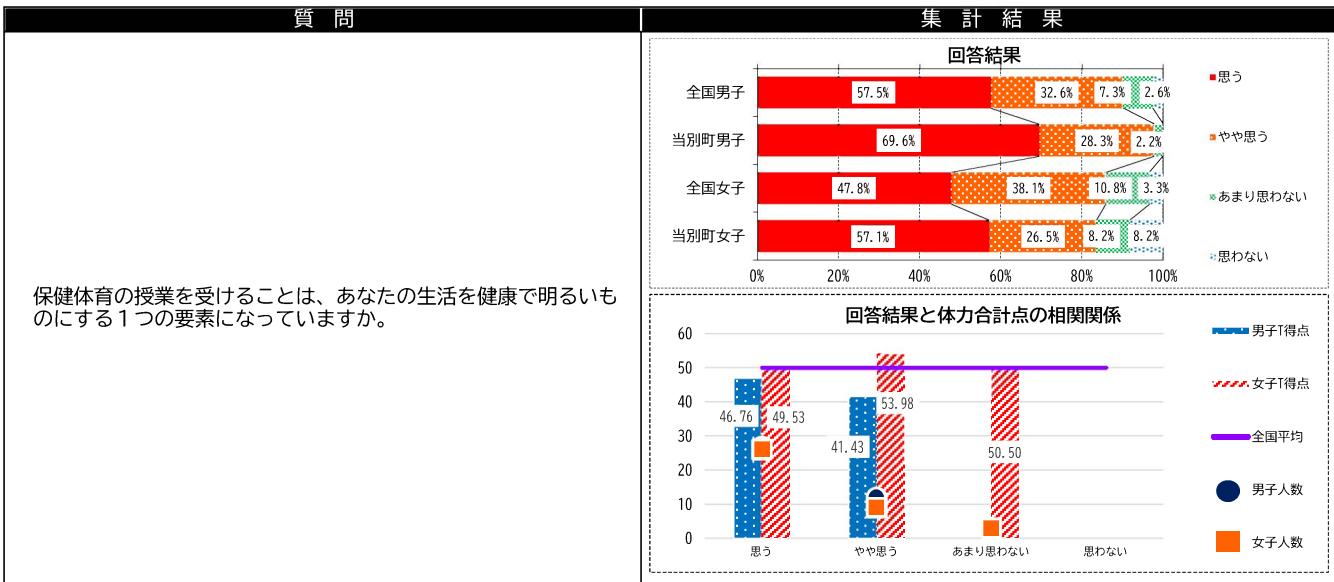
保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することありますか。



これまでの保健体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。

(回答率上位3位までを抜粋)

- ・友達に教えてもらった 男子53.7% 女子59.2%
- ・先生や友達のまねをしてみた 男子45.7% 女子51.0%
- ・授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった 男子45.7% 女子26.5%



関連する学校質問紙調査結果	
設問	回答
令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。	反映した 100%
令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。	行った 100%
保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて、ねらい等）を生徒に示す活動を取り入れていますか。	いつも取り入れている 100%
保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。	いつも取り入れている 100%
保健体育の授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	いつも取り入れている 50% だいたい取り入れている 50%
保健体育の授業では、生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。	全ての学年で取り入れている 100%
保健体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	月に1回程度 100%
保健体育の授業におけるICTの活用場面（複数回答）	生徒の動きを撮影し、生徒同士で確認 100% ゲームや試合の様子を撮影し、作戦の参考にする 50%
結果概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業は「楽しい」「やや楽しい」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は2.7ポイント高く、女子は0.8ポイント低い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で「いつも進んで学習している」「だいたい進んで学習している」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は7.2ポイント高く、女子は2.1ポイント高い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかつたり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は4.4ポイント高く、女子は1.5ポイント低い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかつたり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は7.4ポイント高く、女子は0.8ポイント高い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかつたり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は7.5ポイント高く、女子は3.5ポイント低い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかつたり」することが「いつもある」「だいたいある」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は16.4ポイント高く、女子は22ポイント低い。また、授業で「ICTを活用していない」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は17.1ポイント低く、女子は27.2ポイント低い。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていると「思う」「やや思う」と回答した生徒の割合は、全国平均と比較して、男子は7.8ポイント高く、女子は2.3ポイント低い。</li> </ul>	
分析	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業で、授業の目標を示したり、振り返りの場面や協働的な学習を取り入れたりするなど、授業の質の向上に取り組んでいる。授業の目的を把握しながら学習に取り組めている生徒は、体力合計点が高い傾向にあるので、引き続き授業改善を進め、体力の底上げを図ることが重要である。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育の授業におけるICTの活用については、様々な場面でのICT活用に関する教職員の理解をさらに深めることで、授業改善がさらに進むことが見込まれる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健体育に対する意識において、「楽しい」と感じている生徒の体力合計点には、高い相関関係がある。まずは、生徒にとって保健体育の授業が楽しいという経験の積み重ねが重要である。具体的には、生徒がめあてを明確に持ち、その達成に向かって、自分自身のペース、場やルールを工夫しながら、学び合い、効果的にICTを活用する主体的かつ対話的な授業づくりを進める必要がある。</li> </ul>	

# 当別町体力向上プラン

【目標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均をめざす



【課題】

- 令和4年度の体力合計点が中学校女子を除き、全国を下回っている。過年度との比較から、小学生は、特に持久力、疾走能力や巧緻性（運動のタイミングを取る調整能力）の得点が低く、中学生では、敏捷性、持久力や巧緻性の得点が低い。バランスの取れた体力の向上をより一層取り組むことが大切である。
- 家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を5時間以上見ている割合が、小・中学校の女子で全国平均を上回っていることから、基本的生活習慣の改善が課題である。



学 校

【具体的な方策】

教育委員会

- 9年間を見通した体力向上の取組
- 各校の体力向上プランの着実な実践
- 1校1実践の取組とどさん子元気アップチャレンジへの参加
- 「基本的生活習慣の改善」に向けたPTA・CSと連携した取組の推進

- 当別町体力向上プランに基づく施策の推進
- 体育専科教員などの人材確保
- 運動習慣の定着に向けた積極的な支援
- 「基本的生活習慣の改善に向けた啓発活動」の推進

地 域

- コミュニティ・スクールによる、児童・生徒の体力向上に向けた地域活動等の充実と基本的生活習慣の改善に向けた啓発
- 小中一貫教育の推進

【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し		準備	体力調査実施						→	結果分析・評価	
教委	体力向上 プラン作成			学校への支援	PTA・CSとの連携						結果分析・評価	

**当別町教育委員会学校教育課**

**【問い合わせ先】**

〒061-0292 北海道石狩郡当別町白樺町5 8番地9

TEL : 0133 - 23 - 2689      FAX : 0133 - 23 - 3114

E-mail : [kyokan3@town.tobetsu.hokkaido.jp](mailto:kyokan3@town.tobetsu.hokkaido.jp)

# 当別町

